

# TOTTORI POP UP

2022.10.15(土)~11.30(水)



【開催店舗】高梁市立図書館 / 武雄市図書館 / 和歌山市民図書館 / TSUTAYA リノアス八尾店 / TSUTAYA BOOKSTORE エキソアレ西神中央 / TSUTAYA 中万々店

## tottori Handwork

鳥取の風土が育ててきた民芸品の数々を集めました。ひとつひとつ手で作られた品に出会い、作り手の思いを感じてみてください。生活になじむお気に入りが見つければ嬉しいかぎりです。



**<事業者紹介>**  
因州和紙の生産と伝承を目的に、鳥取の和紙関係者と市が共同出資し運営を行っています。工房が位置する鳥取県東部は、旧 因幡国（いなばのくに）と呼ばれ古くから和紙作りが盛んで、特に書道用紙が全国的に有名です。かみんぐさじがある工房では和紙手漉き体験を実施しており、1200年を超える因州和紙の歴史を体験できます（要予約）。

### ⑤有限会社 かみんぐさじ

住所：鳥取市佐治町福園 146-4  
電話：0858-89-1816



### <事業者紹介>

「玄瑞窯」という窯名で、鳥取の色を映した器の製作を行う芝原さん。理想の色を出すために試行錯誤を重ねた釉薬のつかい方が魅力です。2016年にはスターバックスの JIMOTO made Series にも参加されています。製作された器は拠点の工房の2階でも購入することが可能で、妻で陶芸家の西根さんによる「陶工房根-ne.」も同工場で製作をされており、テイストの異なる2人の作家の作品を楽しめます。

### ①玄瑞窯

住所：鳥取市古海 64-1  
電話：0857-50-1758



玄瑞窯



### <事業者紹介>

「心のバリアフリー化」を掲げ、障がいのあるなしに関わらず人と人が笑顔になれる作業所を目指す就労継続支援 B 型作業所「ねっこ作業所」。木材を使った加工品を製作しており、オーダーメイドも受け付けています。定番品のガーデニング小物や鍋敷きはオンラインでも購入可。可愛らしいデザインと木の色合いが何となく魅力的です。

### ②NPO 法人ねっこ

住所：鳥取市南吉方 3 丁目 486 番地  
電話：0857-29-4231



### <事業者紹介>

父の跡を継ぎ昭和 40 年から 50 年以上もの間、郷土玩具の製作を行っています。人気商品の「鳥取のえと」は単体でも十二支セットでも購入可。毎年の干支に合わせて収集するか、十二支を一気に揃えて飾っていくか迷ってしまう可愛らしさです。セットには台座がついており、当年の干支を目立たせることができるのも嬉しい仕掛けです。

### ④信夫芸店

住所：鳥取市上町 116 番地  
電話：0857-23-0506



信夫  
芸店



### <事業者紹介>

ゲストハウス、カフェ機能のある滞在スペース「たみ」、パブ、ホステル機能のある滞在スペース「Y Pub&Hostel」の運営を行う「うかぶ LLC」。鳥取のイベント情報が集まる 2 つの施設を旅の拠点にするのも楽しそう。鳥取をモチーフにしたオリジナルグッズはオンライン、両施設の物販スペースで販売中です。

### ③合同会社うかぶ LLC

住所：東伯郡湯梨浜町中興寺 340-1  
電話：0858-41-2026 (オフィス)





# トトリ食 Food

なじみ深い食べ物をより多くの人に味わってほしい、という気持ちで開発された鳥取の食品。土地の特色をダイレクトに味わえるものを集めました。普段とちょっとちがう、おやつの時間を味わってください。



## <事業者紹介>

「山陰・鳥取の特産品の地元の味を伝えたい」という思いから、地元の食材を使った煎餅を開発。「幻の海老もさえび」は、毎年9月～5月に日本海沖合にて底びき網漁で水揚げされ、カニシーズンと重なる時期が長いため隠れた存在だが非常に美味とのこと。鮮度劣化が早いいため県外に出せなかった商品を、加工し煎餅にしたことで全国流通が可能になり、山陰・鳥取の新しい魅力を打ち出しています。

## ⑧株式会社 トラスト

住所：鳥取市河原町良田 280 番地 1  
電話：0858-85-2004



## <事業者紹介>

鳥取砂丘ならではの特産品を開発した、砂丘の砂でたまごを熱した「砂たまご」、焙煎に砂を使った「砂コーヒー」。地元の方々のアイデアで鳥取砂丘を活用した商品を製造するふくべむら特産品本舗さん。自宅でのコーヒー文化が盛んな鳥取に即した商品となっており、ブラジル産の豆を 240 度の高温で焙煎した砂コーヒーは癖のない味わいで飲みやすい仕上がります。

## ⑨有限会社 ふくべむら特産品本舗

住所：鳥取市福部町湯山 1544-1  
電話：0857-74-3158



## <事業者紹介>

自然豊かな大山のファームにて、有機 JAS 認証を取得しオーガニックティや有機野菜パウダー、ジャムなどを製造しています。自分たちが確認できる限りの安心なものを使う、という信念を畑づくりから商品加工まで一貫しています。野菜がメインの製造ですが子供が食べやすいよう味付けにこだわっているため、親子で同じものが食べられるのも嬉しいポイントです。

## ⑩合同会社 大山スマイルファーム

住所：西伯郡大山町岡 559 番地  
電話：050-3395-2455



## <事業者紹介>

長年落雁を作り続ける京屋菓舗が砂丘をイメージした落雁を開発。落雁の常識を覆すソフトな口当たりとフレーバーは、さながら「食べられる砂丘」といえます。持ち歩きしやすく食べやすいサイズのためお土産にもおすすめです。やさしい甘さかつ、脂肪分ゼロなのでダイエットのおやつにもぴったりです。

## ⑪有限会社 京屋菓舗

住所：鳥取市吉方温泉 2 丁目 511  
電話：0857-22-2355



## <事業者紹介>

明治 35 年以來、百十餘年の間鳥取市内の老舗和菓子店として販売を続けてきました。鳥取の著名な民藝活動家である吉田理也氏から依頼を受けた宝月堂 3 代目、それまで庶民のおやつであった生菓せんべいを贈答用に製作したのが、今日の看板商品の始まりです。MOCHI cube® など現在も新しい商品を生み続けていますが、こちらは生菓子のためぜひ現地に味わってください。

## ⑫有限会社 宝月堂

住所：鳥取市二階町 3-121  
電話：0857-22-3745



# トトリ旅 Travel

## 日本列島本島の中国地方、北東部にある鳥取県。

横に細長い形をした鳥取県は、観光地も広く分散しています。秋から冬にかけて、紅葉や温泉、蟹の水揚げと鳥取は楽しいことが目押しし、見たいところがたくさんあって迷う！という方向けに、鳥取のおすすめ観光地をまとめてみました。  
(なお訪れる際は感染症対策をしっかり行い、施設の情報は事前に調べて頂くことをおすすめします)



## ■鳥取砂丘 Tottori Sand Dunes

鳥取を代表する観光地である鳥取砂丘は、鳥取を訪れたら必ず行っておきたいスポット。付近にはビジターセンターもあり、初めて訪れる方にも楽しみ方を教えてくれます。アクティビティも充実しており、砂丘を満喫できます。



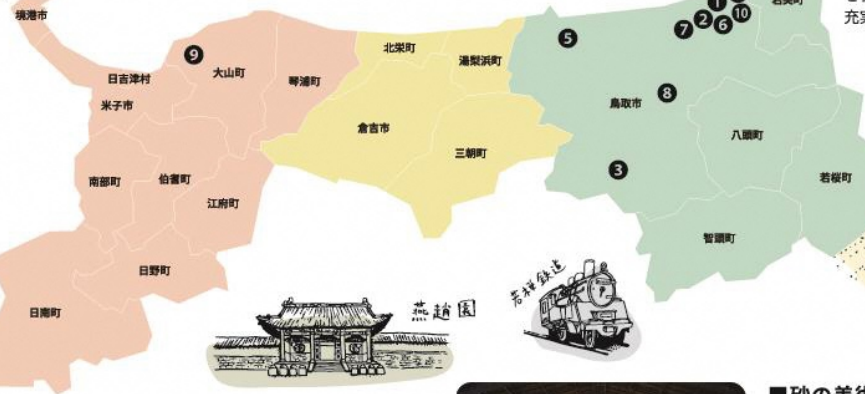
## ■大山 Mt. Daisen

10月末～11月頭にかけて紅葉の見ごろを迎える大山。登山も可能で初心者向けコースもあるので安心です。米子市内からも姿がよく見え、ふもとからでも美しい姿が楽しめます。



## ■境港 Sakaiminato

紅ズフィガニの水揚げ量日本一の境港では、9～6月の間紅ズフィガニ漁が行われています。11月に入ると松葉ガニの水揚げも始まり、付近の飲食店では新鮮なカニを味わうことができます。刺身や鍋で提供される美味しいカニは、地元の人はもちろん旅行者の大きな楽しみで秋冬の風物詩として鳥取を彩ります。



## ■大神山神社 Ogamiyama Shrine

大山信仰の中心となる大神山神社は産業発展、五穀豊穡、牛馬畜産、医薬療法、邪気退散のご利益のある神社で、四季の移り変わりの鮮やかさを参道でも楽しめます。なお 2022 年秋現在奥宮は風雪による損傷の修復のため、御遷宮によって神様が下山神社にお移りになっておられるとのこと。奥宮本殿の修復が完了した際は、元の社にお遷り頂く本殿遷座祭が行われるそうでこちらは 2024 年秋の予定です。



## ■砂の美術館 Sand Museum

「砂で世界旅行」をコンセプトとしてテーマごとに製作を行う「砂の美術館」。『砂で世界旅行』をコンセプトに世界各地の様子を砂像で表現した展示を行っており、2022 年秋現在のテーマは「砂で世界旅行・エジプト編」を実施中です。美術館に展示されている砂像は特別な素材ではなく、砂像は常に崩れる危険性を伴っていますがその壮大さ、儚さも見どころです。